

## ★ 提案32に賛成の議論 ★

すべてのCalifornia州民は、少なくともフルタイムで40時間の労働週を働く場合、生活の基本的なニーズを満たさるべきです。しかし、約200万人のCalifornia州民がフルタイム以上で働いているにもかかわらず、1時間あたり\$18未満の賃金しか得ていません。これらの1時間あたり\$18未満の賃金を得ているCalifornia州民の多くは、家計の主な担い手です。また、これら\$18未満の賃金を得るCalifornia州民の多くには子供がいます。

私たちは皆、フルタイムまたはそれ以上働くCalifornia州民が貧困の中で暮らすべきではないということに同意できるでしょう。しかし、まさにその通りの生活を送っている何百万人ものCalifornia州民がいます。彼らの賃金が、California州での生活の高騰に追いついていないからです。

さらに、一生懸命働く人々が生活の基本的なニーズを満たすのに十分な賃金を得られない場合、一部の企業が果たすべき役割を果たさないことで、納税者に大きな負担がかかります。従業員に対して正当な扱いをする企業がある一方で、一部の企業がCalifornia州民に非常に低い賃金を支払い、その結果としてその労働者が納税者の資金による援助を必要とすることは、不正です。納税者は、一部の企業が極端に低い賃金を支払い、その結果として余剰利益を所有者に残すことを許している企業を補助するべきではありません。

最低賃金を1時間あたり\$18に引き上げることで、提案32は200万人のCalifornia州労働者に必要な賃上げをもたらす、大企業が中小企業やコミュニティ、そして最も勤勉な隣人を搾取することを許さない、より繁栄したシステムを築きます。

最後に、より多くのCalifornia州民が公正な賃金を稼ぐと、州全体の経済が向上します。労働者は家賃を支払いやすくなり、子供たちに一日三食を提供できるようになり、これらすべての支出が地元コミュニティの経済を活性化させます。その活性化した支出がコミュニティ内により多くの雇用を生み出し、皆がより良い生活を送れるようになります。

California州を、働く家庭が生活できる場所にする時が来ました。最低賃金を1時間あたり\$18に引き上げることで、提案32は、賃上げを受ける200万人のCalifornia州民の生活を直接改善し、最も活性化が必要なコミュニティでの支出を刺激します。その刺激は、より多くの仕事とより大きな繁栄を皆にもたらしめます。

提案32に賛成票を投じてください!

Joe Sanberg, 反貧困活動家

## ★ 提案32への賛成意見に対する反論 ★

提案32に反対票を投じてください。

投票法案は、億万長者のおもちゃではありません。

提案32の背後には、たった一人の億万長者がいます。

一人の人物が提案32を書き、投票用紙にかけるために数百万ドルを費やし、提案32のための論争を書きました。

小規模ビジネスと働く家庭の擁護者たちは、提案32を望んでいません。

California州の働く家庭や小規模企業の代表者の多くは、提案32を投票にかけようとは思っていませんでしたが、この法案を書いた人は自分のやり方を押し通しました。

最低賃金の引き上げを支持する代表者たちでさえ、彼に提案32を撤回するよう求めました。しかし、彼は拒否しました。

一人の人物が、彼が裕福であるというだけの資格で、3900万人のCalifornia州民の労働政策を決定しようとするべきではありません。だからこそ、提案32はこれほどまでに欠陥があるのです。

提案32は、小規模企業に価格を引き上げさせることを強制し、インフレを加速させ、California州の生活費をさらに引き上げます。それは、働く家庭にとって痛手です!

提案32は、州および地方政府の費用を数十億ドルも引き上げ、重要なサービスを削減し、増税をもたらします。

提案32は、特にキャリアをスタートさせようとしているティーンエイジャーや有色人種の雇用を奪います。そのため、以前は最低賃金の引き上げを支持していたCalifornia州のリーダーたちは、方針を変更し、そのペースを遅らせるよう求めています。

そして、提案32はCalifornia州のますます複雑化する最低賃金法のパッチワークを悪化させ、労働者と小規模事業主の両方を混乱させます。

提案32は、働くCalifornia州民のための本当の解決策ではなく、エゴプロジェクトのように見えます。

StopProp32.comで事実を確認してください。

提案32に反対票を投じてください!

Jot Condie, 会長

California州レストラン協会

Jennifer Barrera, 会長

California州商工会議所

Ron Fong, 会長

California州食料品店協会

## ★ 提案32に反対の議論 ★

提案32に反対票を投じてください。

提案32は、あなたの個人負担を増加させ、CALIFORNIA州の巨額の財政赤字を悪化させ、小規模企業を苦しめ、雇用を奪い、本来助けるべき労働者に被害を与えます。

提案32は、毎年数十億ドルの財政赤字を悪化させ、公共安全や教育への資金を危険にさらします。

California州は最近、\$500億の財政赤字を経験しました。多くの都市や郡もまた、巨大な赤字に直面しています。この投票パンフレットの中にある提案32の独立した財政分析によれば、最低賃金の引き上げは、州および地方政府に毎年数十億ドルの費用をもたらす可能性が高いとされています。

それは二つのことを意味します。その差額を補うためにあなたがより高い税金を払い、K-12教育、公共安全、医療、ホームレス支援といった重要なプログラムが削減されることです。

提案32は、私たちが最も負担できないときにCalifornia州民の物価を引き上げます

California州の生活費はあまりにも高すぎます。過去3年間で、食料、ガソリン、公共料金、医療、衣料品の価格が20%以上上昇しています。提案32は、家族経営の事業に最も負担がかかるタイミングでさらにコストを増加させ、小規模な雇用主にとっては、消費者にそのコストを転嫁するために価格を引き上げざるを得なくなります。California州の新しいファストフード最低賃金法を見てみると、California州のファストフード価格は6か月で7%上昇しており、全国で最も速いペースです。一部の有名な「バリューミール」、今やCalifornia州では他の州に比べて40%以上も高くなっています。

提案32は、これらの記録的な価格上昇を小規模なレストラン、食料品店、コンビニエンスストア、小売店、農家などにまで拡大し、どこでも同じように驚くべき価格上昇を目にすることになるでしょう。

提案32は、小規模な家族経営企業に打撃を与えます

提案32は、大企業と同様に小規模な企業にも高い最低賃金を課します。小規模な企業は、この高コストの影響を受けやすく、私たちの地域やコミュニティにある家族経営の企業が閉店に追い込まれる可能性があります。

提案32は、雇用を奪います

最低賃金の再引き上げは、生活費の捻出に苦しむ労働者を助けるものとして聞こえるかもしれませんが。誰もが労働者がもっと高い賃金を得ることを望んでいるはずですが。私たちは仲間のCalifornia州民を助けていると考え、気分が良くなります。

しかし、現実には、最低賃金を引き上げることで、特にそれをあまりにも急いで引き上げると、何千もの雇用が失われ、労働者が仕事を失ったり、企業が倒産したりすると、賃金は1時間あたりゼロドルになります。そして、この雇用喪失は、特に若いアフリカ系アメリカ人、ラティーノ、非大学教育を受けた労働者など、最も脆弱な人々に大きな負担をかけます。彼らが最初の仕事を見つける際に最大の困難を抱えることになります。

事実を確認するには[StopProp32.com](http://StopProp32.com)をご覧ください、提案32に反対票を投じてください。

**Jot Condie**, 会長  
California州レストラン協会

**Jennifer Barrera**, 会長  
California州商工会議所

**Ron Fong**, 会長  
California州食料品店協会

## ★ 提案32の反対意見に対する反論 ★

提案32に賛成することで、サービス業やエッセンシャルワーカー、その他の労働者に賃上げがもたらされ、生活の基本的なニーズを満たす手助けができます。

提案32に賛成することで、シングルマザーに賃上げがもたらされ、生活の基本的なニーズを満たす手助けができます。

提案32に賛成することで、働く100万人以上の女性に対してジェンダー賃金格差を是正することができます。

あなたが購入する商品やサービスが高くなっているのは、企業が過去最高の利益を上げているからです！企業の利益率は2000年以降、100%増加しています。今年、株式市場は何度も史上最高値を記録しました。

賃金を低く保つことでさらに儲けようとしている企業のロビイストは、最低賃金を引き上げると生活費が増加するとあなたを説得しようとしています、それは誤りです。生活費

が増加しているのは、記録的な企業利益率が原因です。今こそ、サービス業やエッセンシャルワーカー、シングルマザー、そして他の働くCalifornia州民が生活の基本的なニーズを満たせるように、最低賃金を引き上げる必要があります。

提案32に賛成票を投じてください

詳細は[livingwageact.com](http://livingwageact.com)をご覧ください。

**Ada F. Briceño**, 共同会長  
ユナイト・ヒア・地域 11

**Nanette Barragán**, 米国下院議員  
米国下院、California州第 44 地区

**Saru Jayaraman**, 会長  
一つの公正な賃金